

認証規程・手数料規程を一部改正

理事・政策委「合同会議」を開催



令和4年10月27日開催の合同会議の会場で

内発協（平野正樹会長）では10月27日（木）、第174回理事会及び第55回政策審議委員会の「合同会議」を開催しました。今回の会場は岩手県盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING。

合同会議では、平野正樹会長が議長を務め、審議事項として、「入会承認（賛助会員2社）」と「自家発電設備認証規程に関する規程文書の一部改正」についての審議を行った結果、いずれも承認しました。

（19面に続く）

続いて、報告事項として、令和4年度4月から9月までの「上期事業報告」と「上期収支報告」、「令和5年度の定時総会・理事会・政策審議委員会の開催日程」について、事務局が報告しました。

合同会議には、理事12名と監事2名。理事・監事との重複者を除いた政策審議委員13名。事務局5名。合計32名が出席しました。

審議事項のうち、「自家発電設備認証規程に関する規程文書の一部改正」に関しては、「認証規程」及び「手数料規程」について文書の一部改正を行いました。

そのうち、「認証規程」については、製品認証の対象品目から「構成機器（原動機・発電機・制御装置・始動用蓄電池の充電装置・始動用蓄電池装置）」の項目を削除しました。

同様に、「手数料規程」についての「別表 第1～

第3の手数料表」から構成機器の項目を削除しました。（9面に別表 第1～第3）

一方、報告事項のうち、「上期事業報告」に関しては、「自家発電設備製品認証事業」や「自家発電設備専門技術者事業」など事務局が進捗状況を報告しました。

そのうち、「製品認証事業」に関しては、防災用自家発電装置の適合マーク（証票）の4月から9月までの上期発行枚数は2,575枚でした。事業計画に対する達成率は対当初年度計画比で41%、対前年度同期比で86%でした。

「専門技術者事業」に関しては、新規に資格取得を目的とする令和4年度専門技術者講習・試験では、自家用講習試験・可搬形講習試験を合わせた受験申請者数は合計1,750名でした。対当初年度計画比で97%、対前年度比で89%でした。

また、専門技術者の資格保有者が、資格の有効期限を延長するため5年毎に受講する令和4年度更新講習では、受講申請者数は合計5,333名でした。事業計画に対する達成率は対当初年度計画比で109%、対前年度比で100%でした。

「上期収支報告」に関しては、4月から9月までの「上期事業収益」については2億4,762万9千円でした。対当初年度計画比で71%、対前年度

同期比で95%でした。また、4月から9月までの
「費用」については1億5,100万4千円でした。

対当初年度計画比で44%、対前年度同期比で101%
%でした。
